2026年11月10日

各　位

会 社 名　アイホン株式会社
代表者名　代表取締役社長 鈴木　富雄
（コード番号 6718 東証プライム・名証プレミア）
問合せ先 管理本部経営企画部次長 伊藤　和也
（ＴＥＬ 052-228-8181）

第２四半期（中間期）業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026 年５月 12 日に公表いたしました 2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．連結業績予想数値の修正

第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,700	百万円 1,200	百万円 1,300	百万円 900	円 銭 54.99
実　績　値　（Ｂ）	29,384	1,785	2,089	1,611	98.43
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△1,315	585	789	711	―
増　減　率　（％）	△4.3	48.8	60.8	79.0	―
（ご参考） 前期第２四半期実績 （2026年３月期）	30,210	891	962	855	52.29

２．差異の理由

売上高につきましては、国内市場において積極的な営業活動が奏功したものの、前期の価格改定に伴う駆け込み需要の反動減が影響いたしました。海外市場では、前年の販売代理店による在庫抑制の影響から回復し、現地通貨ベースでは前年同期比で大幅な増収となりましたが、欧州市場等での販売が当初計画に届かなかった結果、全体として前回発表予想を下回りました。

利益面につきましては、米国での関税還付という一過性要因により売上原価が減少したことに加え、一部経費の執行が下期へ繰り越されたこと等により、営業利益以下の各利益におきまして前回発表予想を大幅に上回りました。

なお、通期連結業績予想につきましては、下期への経費の繰越しや、依然として先行き不透明な原材料価格の推移等を鑑み、現時点では2026年５月12日公表の数値を据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

（注）業績予想等に関する留意事項

上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以　上